



2017湖っ子食育大賞

大賞は、大津市立中央小学校に決定！

滋賀県教育委員会では、児童生徒が正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校を中心に家庭・地域とも連携した食育を推進しています。

平成19年度に学校や園の特色を生かした優秀な食育の取組を表彰する「湖っ子食育大賞」が創設され、平成29年度は、11年目となり、県内から8校の応募がありました。

審査の結果、大賞は大津市立中央小学校に決定しました。

～受賞校の概要～

大賞

大津市立中央小学校

『心身共にたくましい子どもの育成を目指して～学校・児童・保護者・地域がつながる食育の輪～』をテーマに、食に関する指導の全体計画と年間指導計画に基づき、栄養教諭を中核とした食育の推進が行われています。小規模校のよさを生かし、児童を中心とした栄養保健委員会では、食べ残しを減らす活動や全校で実施する豆つかみ大会など活発な活動が行われています。また、給食試食会や学校保健委員会の開催、食育だよりの発行、学校ホームページによる保護者や地域の方への食についての発信も積極的に行われています。

優秀賞

守山市立守山小学校

『学校全体で取り組む食育の推進～食を身近に感じ、豊かな心と体を育む子どもを目指して～』をテーマに、食に関する指導の全体計画と年間指導計画に基づき、栄養教諭を中核とした食育の推進が行われています。

学校給食の単独自校方式のよさを生かし地域の方と連携して栽培した農作物を給食に使用したり、PTA活動による食育絵画展を開催したりされるなど、学校全体で家庭や地域と連携した食育の推進が継続して行われています。

日野町立日野小学校

『食に関する正しい理解と食習慣を身に付けよう』をテーマに、食に関する指導の全体計画と年間指導計画に基づき、栄養教諭を中核とした食育の推進が行われています。学校内外で農業体験を積極的に行い、栽培から調理、食べるという一連の食育活動が行われています。

特産品である日野菜の学習を通じた保護者や地域と連携した取組や、朝食の大切さや地場産物についての情報発信を学校のホームページ、給食だよりを通して、積極的に行われています。

近江八幡市立八幡東中学校

『食が育てる健康な体作りについて学ぼう!』をテーマに、食に関する指導の全体計画に基づき、食育の推進が行われています。

生徒自身が考えた健康課題をテーマに企業や大学、病院などと連携して講座を開設し、生徒が自分の課題解決や興味のある内容について学ぶ「東中健康フォーラム」を開催されています。生徒会活動を中心に取り組まれています。

県立湖南農業高等学校

『草津市役所高校生レストラン オープンです。』をテーマに、食品科食品流通班による地域特産品に着目したメニューの開発などの取組がされています。

草津市役所庁舎食堂及び喫茶コーナーの閉店により、草津市役所から営業の依頼がされたことがきっかけでプロジェクトが始まり、草津市の「あおばな」や「愛菜菜」を使用した特産品の開発などが行われました。この取組を通して、生徒の自主性が高まり、魅力ある学校づくりにつながっています。

～『まるごと“おうみ”食育推進表彰式』～

2月16日(金)に滋賀県公館で開催された『まるごと“おうみ”食育推進表彰式』において、上記の5校が食育大賞および優秀賞を受賞されました。

表彰式終了後、「食育三行詩コンクール」の受賞者とともに記念撮影が行われました。



★副賞の楯は、信楽焼きです。

★お祝いの焼き海苔がイメージされています。



〈湖っ子食育大賞 支援・協力〉

公益財団法人 滋賀県学校給食会 (副賞)

県立信楽高等学校・県立瀬田工業高等学校 (表彰楯制作)

(保健体育課 Tel 077-528-4614)